

出 世 の 纏 (六卷)

帝キネ時代映畫

原作並脚色者

高井清太郎

監督者

長尾史録

撮影者

谷口 禎

主演者

寅川 延松

紹介

第三百五十六號

火事と喧嘩と男意氣。然しこゝに發散する江戸下氣質(?)なるものはどうもパットしない。固唾を呑與驚などは微塵もない。事件ここじつげが多く、場面に無駄が多く、亂闘のため意味なき亂闘。總てが舊套的であり餘りにも定石を行き過ぎてゐる。其處には數年前の亂闘本位の時代劇の型と較べてどれだけの進歩があったらうか。この監督は徒らに手馴れにゆだね、観客を甘く見くびつてゐる。俳優にしても俗臭紛々としてどうにも困つたものである。

興行價値——地方館向き、低級なお客層でなければ受けぬ、「何が彼女をそうさせたか」など同時公開などは少し亂暴である。(二月二十一日、淺草常盤座)